

# 臨床研修センターだより



Vol.57 2018.11.30

## ●インフルエンザワクチン接種を行いました

10月下旬から11月上旬にかけて5日間、職員向けインフルエンザワクチン接種が行われました。各日5名ずつ計25名の研修医が出務し、2706名の職員へワクチン接種をしました。初日の接種職員数はなんと968名。想定以上の職員が来たため、途中でワクチンが足りなくなり薬剤部へ翌日分を取りに行ったのだとか…。ちなみに写真の順番は出務日ではなく皮下注射と筋肉注射に分けてみました！



## ●チームスクラブを作成しましたー1年次ー

研修医1年目全員でお揃いのスクラブを作りました。色は患者さんから清潔感のある印象を受けやすく、また普段から着やすい紺色にしました。病院のロゴと病院名(KCGH)をモチーフに、1年目らしい元気で明るいデザインとなっています。学年スクラブを着て、より一体感を持って研修に臨めたらと思います。

(1年次 永山)





## ●NIV ハンズオンセミナー

11月14日の救急オープンセミナーでは、臨床工学技術部の指導のもと、NIV（鼻マスクを用いた人工呼吸器療法）ハンズオンセミナーが行われました。2つのグループに分かれ、人工呼吸器の使用方法や人工呼吸療法の種類等を学びました。救急外来で人工呼吸器を見た事はあっても実際に使用した研修医は少なく（というより患者さんの元にくくと既に装着されている事が多いとの事）、操作方法や画面の見方などゆっくり聞く時間もないので、ひとつひとつ丁寧に学べる貴重なセミナーとなりました。



## ●Dr.Browne のレクチャー・ケースカンファレンス

11月21日、ミネソタ大学のブラウン先生をお招きし、アルコール関連疾患についてのレクチャーと当院のICU症例のケースカンファレンスを行いました。レクチャーとカンファレンスの間には、アメリカの遠隔医療についての話を聞いたり、G-ICUを見学しながら入院中の患者さんについてディスカッションが行われました。

ケースカンファレンスでは、1年次の安藤先生が総合内科金森先生の指導のもと発表を行いました。安藤先生には、準備・発表を経験した感想をいただきましたので、写真とともに紹介します。



総合内科で担当させていただいた侵襲性肺炎球菌感染症を発表しました。英語での Case conference であったため、慣れない事もあり苦労しましたが、金森先生の指導のもと無事に終える事が出来ました。準備に関しては、症例も難しく、英語が苦手な身としては分からない事だらけでしたが、その分経験値にする事が出来ました。当日の発表では、Browne 先生によるリードにより、活発な議論が行われていました。熱心な指導による病歴と身体所見から鑑別をしぼるプロセスは大変勉強になりました。貴重な機会を与えて下さった金森先生、Browne 先生にはとても感謝しています。自分の足りないと感じた事を今後に生かせるよう頑張りたいです。（安藤）